

「日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム」実行委員会

構成団体

(一社) 東北経済連合会、東北六県商工会議所連合会、
青森県商工会議所連合会、秋田県商工会議所連合会、
山形県商工会議所連合会、(一社) 新潟県商工会議所連合会、
東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会、青森県商工会連合会、
秋田県商工会連合会、山形県商工会連合会、新潟県商工会連合会、
青森商工会議所、弘前商工会議所、黒石商工会議所、秋田商工会議所、
大館商工会議所、能代商工会議所、酒田商工会議所、鶴岡商工会議所、
新潟商工会議所、新発田商工会議所、村上商工会議所、大鰐町商工会、
かづの商工会、北秋田市商工会、大館北秋商工会、上小阿仁村商工会、
二ツ井町商工会、三種町商工会、藤里町商工会、白神八峰商工会、
男鹿市商工会、湖東3町商工会、潟上市商工会、河辺雄和商工会、
由利本荘市商工会、にかほ市商工会、庄内町商工会、出羽商工会、
遊佐町商工会、酒田ふれあい商工会、関川村商工会、荒川商工会、
神林商工会、朝日商工会、山北商工会、豊栄商工会、安田商工会、
京ヶ瀬商工会、水原商工会、笹神商工会、豊浦商工会、聖籠町商工会、
加治川商工会、紫雲寺商工会、中条町商工会、黒川商工会、
(公社) 秋田青年会議所、(一社) 大館青年会議所、(一社) 能代青年会議所、
(一社) 鹿角青年会議所、鷹巣阿仁青年会議所、(公社) 由利本荘青年会議所、
(公社) 酒田青年会議所、(公社) 鶴岡青年会議所、
(一社) 新潟青年会議所、(一社) 新発田青年会議所、
(一社) にいがた北青年会議所、(一社) 中条青年会議所、
(一社) いわふね青年会議所、東北電力(株)

[順不同、71団体]

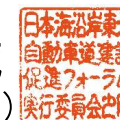
日本海沿岸東北自動車道の 早期実現に関する

要望書

2021年10月

日本海沿岸東北自動車道建設促進フォーラム

実行委員会代表 **海 輪 誠**
(一般社団法人 東北経済連合会会長)



東北経済界及び日本海沿岸の民間経済 71 団体は、国土開発幹線自動車道として位置付けられている日本海沿岸東北自動車道の早期実現と、本路線に接続する高規格道路などの早期整備を強く要望します。

[理由]

東北の日本海沿岸地域は、北海道から九州北部にわたる日本海国土軸の形成、および環日本海交流圏のゲートウェイとして重要な地域であります。この日本海国土軸の根幹をなす「日本海沿岸東北自動車道」(以下、日沿道という)は、沿線地域に留まらず、東北全域、ひいては日本海側全域にわたって産業・経済を活性化し、域内外の交流・連携を活性化させるなど、極めて重要な路線であります。

2011年に発生した東日本大震災時には、日本海側の物流拠点と太平洋側の被災地をつなぐ支援物資の輸送路として、この日沿道が活用され、人々を救った正に「いのちの道」となりました。その一方で、各県境部をはじめとするミッシングリンクが足かせとなり、一部区間において一般道の利用を余儀なくされ、緊急物資などの輸送に支障をきたす事態も生じ、改めて日本海沿岸地域における高速交通基盤の脆弱性を認識することとなりました。

このような中、日沿道は現在まで約80%の整備率となっており、山形県鶴岡市から秋田県小坂町までの約230kmが、2026年度までに開通する見通しが公表されました。全線開通に向け大きく前進している状況の中、引き続き各県境部におけるミッシングリンクの早期解消を図っていく必要があります。

加えて、東日本大震災以降も、相次ぐ地震や令和元年東日本台風、令和二年七月豪雨、豪雪等に見られるような激甚化・頻発化する気象災害等に備えるため、「流域治水」や「高規格道路のミッシングリンクの解消」をはじめとする、防災・減災、国土強靱化に資する社会資本整備を早急に進めることが必要です。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響が長期化する中、ポストコロナを見据え、大都市一極集中を是正し、人や企業の地方分散を図るとともに、東北・新潟と首都圏等の二地域双方の良さを享受・満喫する暮らし方・働き方を目指す「デュアルライフ東北」を実現する観点からも、人、もの、情報の移動を円滑にする交通・情報ネットワークの構築が期待されます。そして、そのための積極的な公共投資の推進は、コロナ禍で疲弊した地域経済の回復にも寄与するものとなります。

高速道路は繋がってこそ、その真価を発揮します。東北の更なる復興・創生を促進し、安全・安心や生活の質の向上、生産性向上・雇用拡大といったストック効果の創出により地域経済の活性化と地域の持続性を高めるためにも、日沿道の一日も早い全線開通に向けた整備促進を願うものであります。

よって、ここに日沿道の早期実現にかける東北経済界及び日本海沿岸地域の民間経済 71団体の総意をもって、次の事項について政府及び関係機関に強く要望します。

1. 日本海沿岸東北自動車道の全線開通に向けた建設促進を図るため、次の事項に配慮すること。
 - ① 2026年度までに開通見通しが立っている「ニツ井今泉道路」、「遊佐象潟道路」、「遊佐比子IC～遊佐鳥海IC」間の一日も早い開通に向けて整備を図ること。また、「朝日温海道路」の整備促進を図ること。
 - ② 日本海沿岸東北自動車道と接続する津軽自動車道の全線開通に向け、2018年度に事業化された「柏浮田道路」の早期整備を図ること。また、地域高規格道路の「西津軽能代沿岸道路（青森県西津軽郡鱒ヶ沢町～秋田県能代市間）」の早期事業化を図ること。
 - ③ 日本海沿岸地域の国際拠点港湾・重要港湾などの主要物流拠点へのアクセス路として重要な役割を果たす日本海沿岸東北自動車道などの「新広域道路交通計画」に位置付けられた道路から、「重要物流道路」の追加指定を行い、重点投資を展開すること。
 - ④ 地域経済の好循環と生産性の向上に資するストック効果の早期発現、ならびに大都市一極集中の弊害の是正と地方創生の加速化に向けて、長期的・安定的に道路整備及び管理が進められるよう、機動的な公共投資を推進すること。
2. 高規格幹線道路などの整備にかかる事業評価にあたり、既存の費用対効果の算定には含まれていない観光・産業振興などの経済波及効果や、災害時の代替路確保などによる社会的貢献も含めて評価を行い、事業の必要性をより適切に判断しながら整備促進を図ること。

以上